安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

🛇 絶対に行わないでください。	❗ 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- **器具の改造や指定部品以外の交換はしない**（火災・感電・落下の原因）
- **器具を布や紙などで覆わない**（可燃物をかぶせて使用すると火災の原因）
- **器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない**（火災・感電の原因）

⚠注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

- **お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です**（火災・感電の原因）
- **器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない**（過熱して火災の原因）
- **光を直視しない**（長時間直視すると目を痛める原因）

厳守

- **器具は指定の制御装置と組み合せて使用する**（過熱して火災の原因）
- **明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う**

・**照明器具には寿命があります。設置して８～10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED 光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。**

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
・3 年に 1 回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

お知らせ

・テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。
・器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
・放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。
・LED素子にはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。
・点灯または消灯後にピシッピシと音がする場合があります。材料または部品の伸縮により起こる摩擦音で、器具の異常ではありません。
・連続調光の下限域で使用する場合、器具ごとの明るさがばらつくことがあります。
・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
・長くご使用いただくと、カバー内に小さなほこりなど侵入するおそれがありますが、性能には影響ございません。
・誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHzの誘導無線（同時通訳システム）及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。
100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

お願い

・LED 光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
・落下等の衝撃を与えた器具は樹脂カバーが割れる可能性があるため使用しないでください。

お手入れ

<器具>　器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<カバー>　カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

⚠警告
電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

⚠注意
点灯中および消灯直後の器具には触らない（高温のためやけどの原因）

保証とアフターサービス

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

・**無償修理**：照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間、交換用モジュールユニットは商品納入日より 3 年間です。
・**無償提供**：交換用モジュールユニットが起因の不具合に関しては、交換後5年間、交換用モジュールユニット以外の部品が起因の不具合に関しては、器具納入から5年間、代替商品またはLED光源・電源ユニットを無償提供させていただきます。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル **0120-348-027**（無料）
受付時間 9時～17時（土・日・祝日は除く）
FAX (0467) 46−8861

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

E770Z718H23

MITSUBISHI ELECTRIC

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

[5 ～ 100%連続調光形]

本器具は光源寿命末期まで、常に標準出力モードの約 86%の光束を維持するよう設計されています。

三菱LED照明器具

マルチグリッド　システム天井用　高出力用モジュールユニット

形名　**EL-GU45200N**　**EL-GU45200W**

適合器具　**EL-G35201AN/6 AHZ**　**EL-G35201AW/6 AHZ**
EL-G35201AN/6C AHZ　**EL-G35201AW/6C AHZ**
EL-G35211AN/6 AHZ　**EL-G35211AW/6 AHZ**

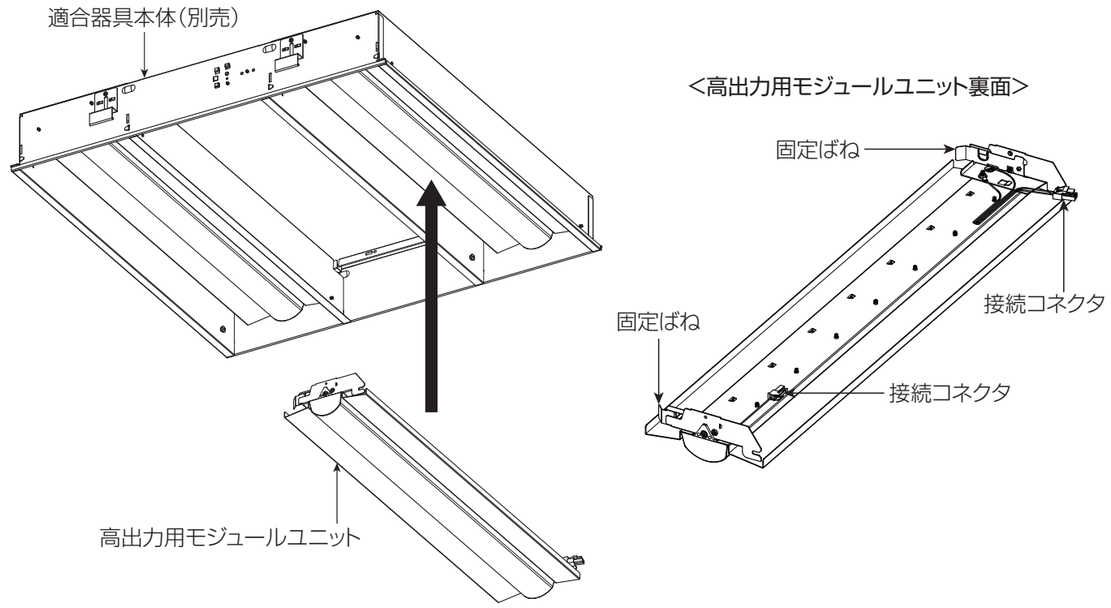
形名	定格電圧	周波数	入力電流（A）			消費電力（W）			LED 光源寿命（光束維持率 95%時）
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	
EL-GU45200N EL-GU45200W	AC100-242V	50/60Hz	0.36	0.18	0.15	35.2	34.6	34.6	40,000h

※値は適合器具取付時の値です。

据付工事説明書
取扱説明書

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

各部のなまえ



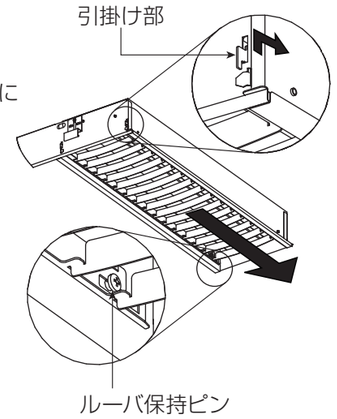
1 ルーバを外す

（1）ルーバを軽く押し上げ、矢印の方向（ルーバ保持ピン側）にスライドさせる。

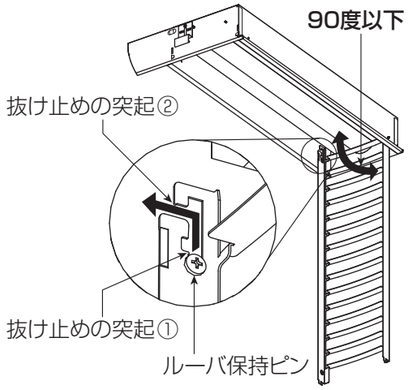
（2）先端の引掛け部が外れるとルーバが開きます。

（3）本体側のルーバ保持ピンからルーバを軽く押し上げ、右図の矢印の方向へ通してルーバ保持ピンから外す。

○抜け止めの突起が片側2箇所ずつあります。片側ずつ軽く押して外してください。



⚠警告
ルーバを 90 度より大きく開かない（ルーバが変形する原因）

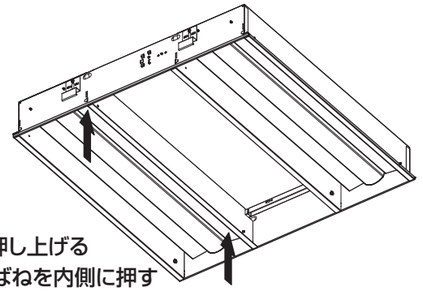


2 モジュールユニットを取り外す

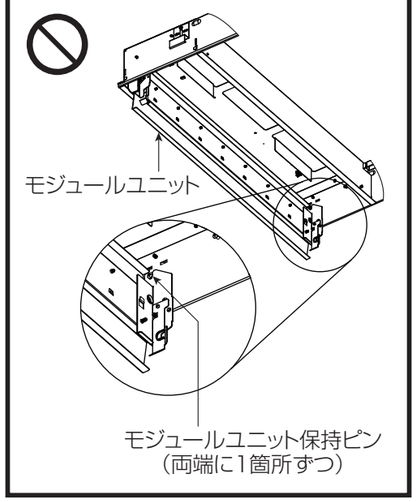
（1）両手でモジュールユニットの両端部を軽く押し上げる。

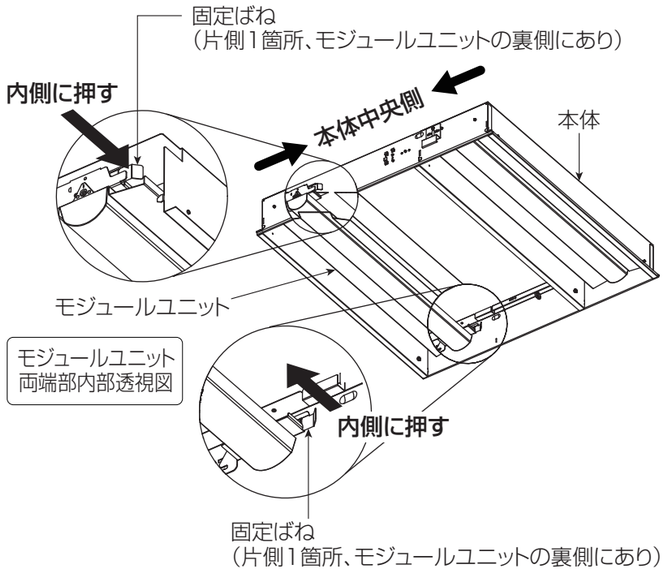
（2）本体中央側のモジュールユニット裏側に指先を入れて、固定ばねを内側に押す。

○固定ばねはモジュールユニットの裏側にあります。
○モジュールユニットの着脱はルーバを取り外した状態で行ってください。
○固定ばねが外れるとモジュールユニットが垂れ下がってきます。



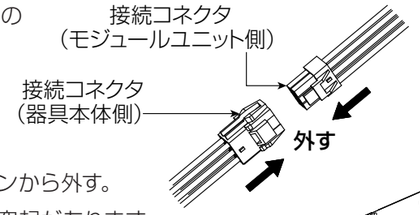
⚠警告
モジュールユニットをモジュールユニット保持ピンのみに引掛けた状態で放置しない（落下の原因）





お願い
固定ばねを必要以上に曲げないでください。（取付不良の原因）

（3）器具本体側とモジュールユニット側の接続コネクタを外す。（2 箇所）

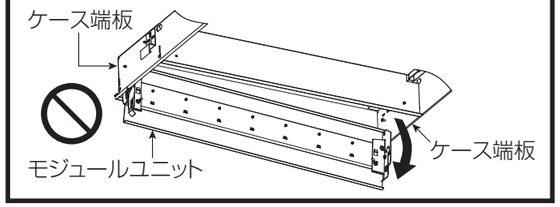


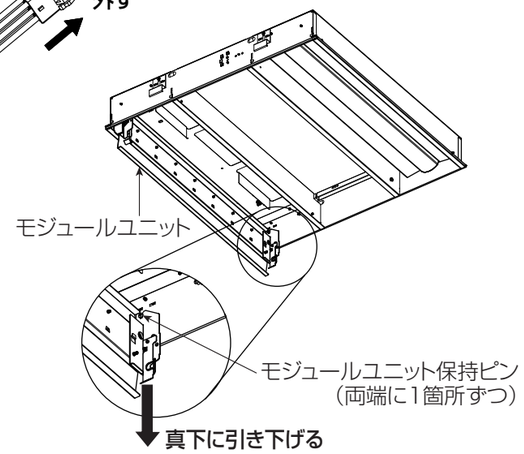
⚠警告
通電中、コネクタの抜き差しをしない（不点灯の原因）

（4）モジュールユニットを引き下げ、本体側のモジュールユニット保持ピンから外す。

○モジュールユニット側に抜け止めの突起があります。片手でモジュールユニットを保持した状態で、片側ずつ引いて外してください。

⚠警告
モージュールユニットを外す際は、モジュールユニットを傾けすぎない（ケース端板に傷がつく原因）

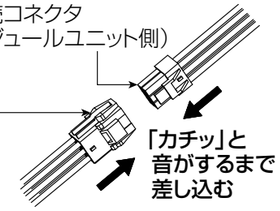




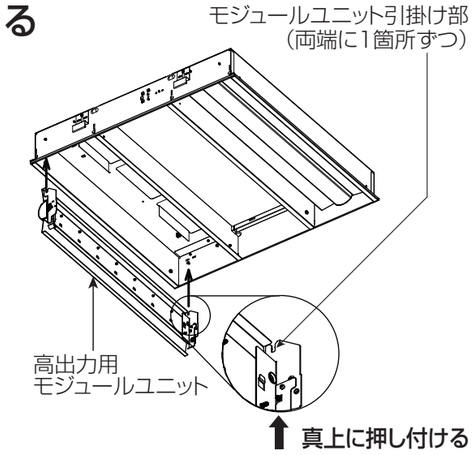
3 高出力用モジュールユニットを取付ける

（1）高出力用モジュールユニットのモジュールユニット引掛け部を本体側のモジュールユニット保持ピンにはめ込む。

（2）器具本体側と高出力モジュールユニット側の接続コネクタを接続する。（片側 2 箇所）



⚠警告
通電中、コネクタの抜き差しをしない（不点灯の原因）

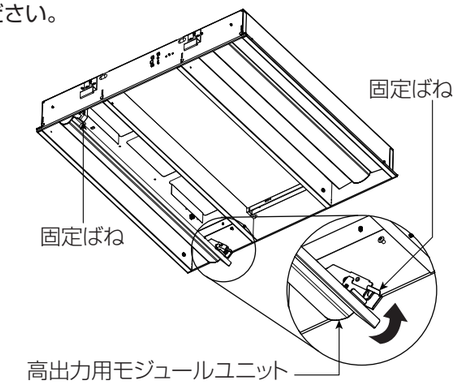


※電源投入は、コネクタ接続後に行ってください。
※電源投入後のコネクタ接続では点灯しません。
復帰させる場合は、30 秒以上電源を遮断して再点灯させてください。

（3）固定ばねを内側に押した状態で高出力用モジュールユニットを回転させ、本体側に押し上げる。

○高出力用モジュールユニット取付後、軽く高出力用モジュールユニットを下に引っ張り、確実に取りついていることを確認してください。

⚠警告
- **コネクタ・リード線を挟み込まない**（火災・感電の原因）
- **取付が不完全な場合、接続不良による発熱により火災の原因**
- **モジュールユニットをモジュールユニット保持ピンのみに引掛けた状態で放置しない**（落下の原因）



4 ルーバを取付ける

○「1. ルーバを外す」の逆の手順で行う。

⚠警告
取付が不完全な場合、接続不良による発熱により火災の原因